JASDAQ

平成26年６月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年１月31日

上場会社名　株式会社 三東工業社　上場取引所　東
コード番号　1788　ＵＲＬ　http://santo.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）奥田　克実
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　（氏名）矢森　貞行　ＴＥＬ　077-553-1111

四半期報告書提出予定日　平成26年２月14日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年６月期第２四半期の業績（平成25年７月１日～平成25年12月31日）

（１）経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年６月期第２四半期	2,499	11.3	104	－	107	－	95	－
25年６月期第２四半期	2,245	△14.3	△59	－	△58	－	△60	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年６月期第２四半期	13.90	－
25年６月期第２四半期	△8.89	－

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年６月期第２四半期	4,786	2,503	52.3
25年６月期	3,600	2,414	67.1

（参考）自己資本　26年６月期第２四半期　2,503百万円　25年６月期　2,414百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年６月期	－	0.00	－	4.00	4.00
26年６月期	－	0.00			
26年６月期（予想）			－	4.00	4.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年６月期の業績予想（平成25年７月１日～平成26年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	11.2	120	－	120	－	100	－	14.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　　有

（注）詳細は、添付資料３ページ「２.サマリー情報（注記事項）に関する事項（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年６月期２Ｑ	6,860,000株	25年６月期	6,860,000株
②　期末自己株式数	26年６月期２Ｑ	4,103株	25年６月期	3,217株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年６月期２Ｑ	6,856,635株	25年６月期２Ｑ	6,857,686株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の２ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第２四半期累計期間 …… 6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、アベノミクス効果による円安・株高基調の中、企業の業績が順調に推移しており、景気に回復の兆しが見えてきております。しがしながら、４月に予定されている消費税の増税や米国における金融緩和の縮小が及ぼす影響など、依然として先行きには不透明な状況があります。

また、建設業界におきましては、公共投資は堅調に推移し、民間投資も消費税増税前の駆け込み需要などにより、建設投資全体としては増加しておりますが、建設資材の高騰や建設従事者の人手不足による賃金の高騰などにより、依然として厳しい経営環境にあります。

このような経済状況の中、当社は全社一丸となった営業展開により新規顧客を開拓する一方で、積算の精緻化や工程管理の徹底を図り、経費の削減に努めました。

この結果、当第２四半期累計期間の業績は、売上高2,499百万円（前同四半期比11.3％増）、営業利益は104百万円（前同四半期は営業損失59百万円）、経常利益は107百万円（前同四半期は経常損失58百万円）、四半期純利益は95百万円（前同四半期は四半期純損失60百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①土木部門

土木部門の受注工事高は、1,463百万円（前年同四半期比4.2％減）となり、完成工事高1,732百万円（前年同四半期比29.9％増）、セグメント利益114百万円(前年同四半期はセグメント損失46百万円）となりました。

②建築部門

建築部門の受注工事高は、1,816百万円（前年同四半期比82.7％増）となり、完成工事高754百万円（前年同四半期比16.5％減）、セグメント損失9百万円（前年同四半期はセグメント損失20百万円）となりました。

③不動産部門

不動産部門の売上高は12百万円（前年同四半期比66.3％増）、セグメント損失0百万円（前年同四半期はセグメント利益7百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第２四半期会計期間末における流動資産は3,736百万円となり、前事業年度末に比べ1,068百万円増加いたしました。これは主に受取手形・完成工事未収入金等が596百万円増加、未成工事支出金が545百万円増加したことによるものであります。固定資産は1,050百万円となり、前事業年度末に比べ117百万円増加いたしました。これは保有目的を変更したため土地が133百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は4,786百万円となり、前事業年度末に比べ1,185百万円増加いたしました。

（負債）

当第２四半期会計期間末における流動負債は2,216百万円となり、前事業年度末に比べ1,084百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が620百万円増加したことによるものであります。固定負債は66百万円となり、前事業年度末と比べ11百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が13百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,282百万円となり、前事業年度末に比べ1,096百万円増加いたしました。

（純資産）

当第２四半期会計期間末における純資産合計は2,503百万円となり、前事業年度末に比べ89百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が67百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は52.3％（前事業年度末は67.1％）となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第２四半期累計期間の業績を勘案し、平成25年８月９日に公表しました平成26年６月期第２四半期の業績予想の修正をいたしました。

なお、当該修正に関する開示は、本日（平成26年１月31日）公表の「業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年６月30日）	当第２四半期会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	961,723	1,011,474
受取手形・完成工事未収入金等	963,449	1,559,723
有価証券	21,521	21,527
販売用不動産	340,374	207,068
未成工事支出金	340,996	886,956
その他	51,007	62,291
貸倒引当金	△11,000	△12,600
流動資産合計	2,668,072	3,736,441
固定資産		
有形固定資産		
土地	250,692	383,998
その他（純額）	477,791	434,457
有形固定資産合計	728,483	818,455
無形固定資産		
その他	32,886	31,513
無形固定資産合計	32,886	31,513
投資その他の資産		
投資有価証券	137,815	167,954
その他	230,084	228,860
貸倒引当金	△196,385	△196,385
投資その他の資産合計	171,515	200,430
固定資産合計	932,885	1,050,399
資産合計	3,600,957	4,786,840
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,025,072	949,875
短期借入金	－	620,000
未払法人税等	8,959	13,853
未成工事受入金	33,945	590,793
完成工事補償引当金	27,200	28,700
工事損失引当金	141	6
その他	36,480	13,532
流動負債合計	1,131,799	2,216,761
固定負債		
繰延税金負債	7,486	20,676
その他	46,869	45,459
固定負債合計	54,355	66,136
負債合計	1,186,155	2,282,897

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年６月30日）	当第２四半期会計期間 （平成25年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	849,500	849,500
資本剰余金	625,900	625,900
利益剰余金	926,910	994,771
自己株式	△366	△484
株主資本合計	2,401,944	2,469,686
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,857	34,256
評価・換算差額等合計	12,857	34,256
純資産合計	2,414,802	2,503,943
負債純資産合計	3,600,957	4,786,840

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成24年12月31日）	当第２四半期累計期間 （自　平成25年７月１日 至　平成25年12月31日）
売上高		
完成工事高	2,237,487	2,486,930
不動産事業等売上高	7,677	12,763
売上高合計	2,245,164	2,499,694
売上原価		
完成工事原価	2,192,112	2,257,590
不動産事業等売上原価	－	13,219
売上原価合計	2,192,112	2,270,810
売上総利益		
完成工事総利益	45,374	229,339
不動産事業等総利益	7,677	△456
売上総利益合計	53,051	228,883
販売費及び一般管理費	112,695	124,133
営業利益又は営業損失（△）	△59,644	104,749
営業外収益		
受取利息	212	739
受取配当金	431	782
雑収入	1,275	3,277
営業外収益合計	1,918	4,799
営業外費用		
支払利息	678	1,588
支払保証料	594	910
営業外費用合計	1,272	2,498
経常利益又は経常損失（△）	△58,997	107,050
特別利益		
固定資産売却益	1,750	－
特別利益合計	1,750	－
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△57,247	107,050
法人税等	3,712	11,762
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△60,959	95,288

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。